

# 「上方の儀に付き、際限なき御用にと取乱れ候」

## ～ 滝山城主北条氏照の人と合戦(2)～

天正18年(1590)7月、豊臣秀吉によって小田原城は開城、北条家当主氏直の父氏政と叔父氏照は自決、関東を100年にわたって支配してきた戦国大名北条氏は滅亡し、戦国時代は終焉をむかえました。北条氏の滅亡は時代の大きな転換でした。

今回は昨年度に引き続き、「滝山城主北条氏照の人と合戦」について、その後半生を中心にお話していただきます。永禄12年(1569)の滝山合戦で武田信玄の侵攻を退けた氏照は、その後、北条氏の北関東侵攻の中心となって活躍、やがて織田信長・羽柴秀吉ら中央政権との交渉を通じて関東・東北のみならず、近畿地方の動向にも目を配りながら、北条家の柱石としての役割を果たしていきます。その時期の氏照の生涯をたどり、いよいよ秀吉との決戦に向かう氏照の八王子城への移転と領域の支配について考えていきましょう。

日時 令和2年11月29日(日)  
1回目 10時から12時15分  
2回目 13時30分から15時45分  
(1回目と2回目は、同一内容です。)

講師 加藤 哲 さん  
(八王子市文化財保護審議会 副会長、  
戦国史研究会 評議員)

会場 八王子市加住市民センター・多目的室  
(八王子市加住町1-338)

受講料 500円(資料代)

募集 各回とも40名(各回とも応募者が多数の場合は抽選。)  
※新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、定員108名のところ、各回40名の募集。

申し込み 往復はがきに、「歴史講演会 1回目か2回目を記載」、氏名(フリガナ)、住所、年齢、電話番号を、返信面に宛名を書いて、〒192-0902 八王子市上野町109-21 八木正範 宛に、11月16日(月)必着で送ってください。(はがき1枚で1名、第2希望は不可。)



(この御城印は試作品です。現在販売等は予定していません。)

主催 NPO法人 滝山城跡群・自然と歴史を守る会

〒192-0003 八王子市丹木町2-196-4  
電話 090-4700-6854 (尾熊)

ホームページ よみがえる滝山城 <http://takiyamajo.com>  
ブログ <http://blog.goo.ne.jp/npotakiyamajou>